

Title	企業通貨におけるネットワーク分析
Sub Title	
Author	東, 史江(Azuma, Fumie) 太田, 康広(Ota, Yasuhiro)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2010年度経営学 第2494号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002010-2494">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002010-2494</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 研究テーマ

## 企業通貨におけるネットワーク分析

## 内容の要旨

企業通貨とは企業が発行する電子マネーやポイントのことを指す。企業通貨とは企業単独で発行されるのではなく、他の企業と提携して構成されている。

企業通貨の発行額は年々増加する傾向にある。企業通貨がここまで発行する国は世界をみても類がない。日本独特の文化だと言われている。企業通貨はマーケティングの側面から研究されてきた。また定量的分析が少なくほとんどが定性的分析であり、消費者側の利便性を訴えた記事が多く目立つ。

そこで企業側からみて企業通貨を発行するにあたって基軸通貨になるのはどのような傾向があるかを定量的分析、ネットワーク分析をもちいて解析した。